

図書寄贈対象大学に対するアンケートについて

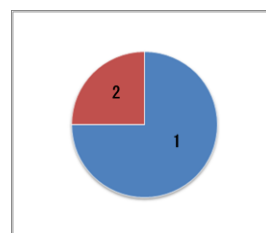
1999年に中国への図書寄贈を開始して以来、これまでに寄贈した図書は325万冊を超えるが、日本語学習者数の増加が著しい中国においては、日本関係図書はまだまだ需要に追いつかず、不足の状況にある。こうした要望に応え、ニーズに合った図書を効果的に贈るため、11月8日から20日まで、中国の43の寄贈対象大学図書館に「活用者の生の声」の収集及びアンケートを行い、活用状況、要望・意見など寄贈に関する色々を把握した。

「活用者の生の声」の提供は19大学であり、「アンケート」の回答は16大学であった。回答のあった16大学について、下記のとおりに取りまとめた。

★アンケート結果(概要)

Q)寄贈図書から必要情報が入手可能か？

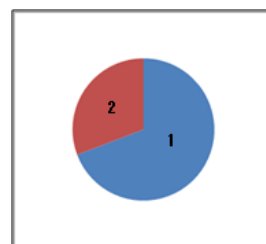
- | | |
|------------|-----------|
| 1.得られる | 12校 (75%) |
| 2.基本的に得られる | 4校 (25%) |
| 3.得られない | 0校 (0%) |



Q)寄贈図書の内、貸出し可能図書と館内閲覧のみの割合は？

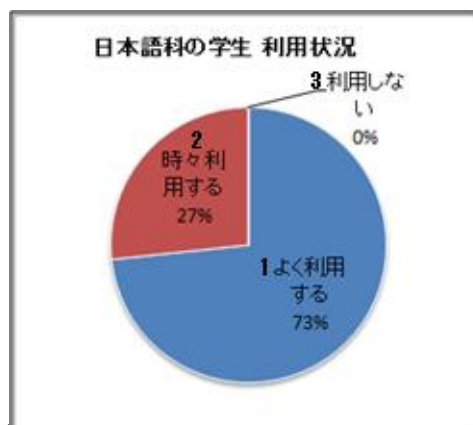
- | | |
|-----------|-----|
| 1.貸出・閲覧可能 | 69% |
| 2.館内閲覧のみ | 31% |

※館内閲覧のみの理由は、資料価値の高い図書や、人気図書の為、持出し禁止にしていると推察される。



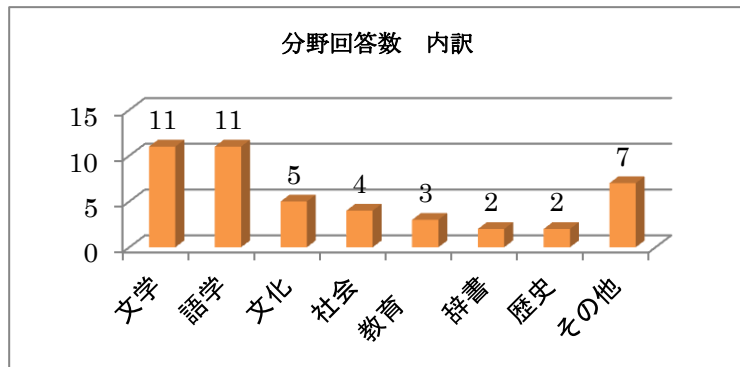
Q)日本語学科学生の利用状況は？

- | | |
|----------|-----|
| 1.よく利用する | 73% |
| 2.時々利用する | 27% |
| 3.利用しない | 0% |



Q) 日本語学科学生の利用分野は？(複数回答)

・文学	11 大学
・語学	11 大学
・文化	5 大学
・社会	4 大学
・教育	3 大学
・辞書	2 大学
・歴史	2 大学
・その他	7 大学

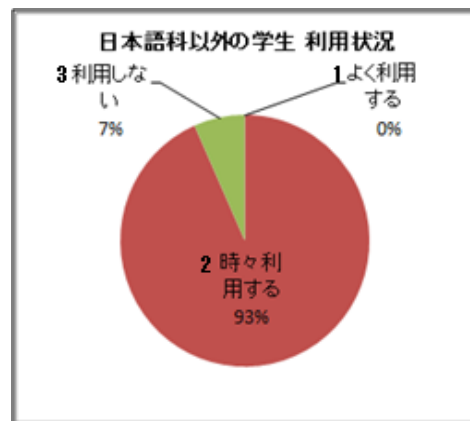


(その他の内訳: 経済、法律、芸術、科学、地理、風俗、中国古典の翻訳)

【考察】専攻である日本文学や日本文化など、日本についての図書の利用が多く、半数以上を占めている。

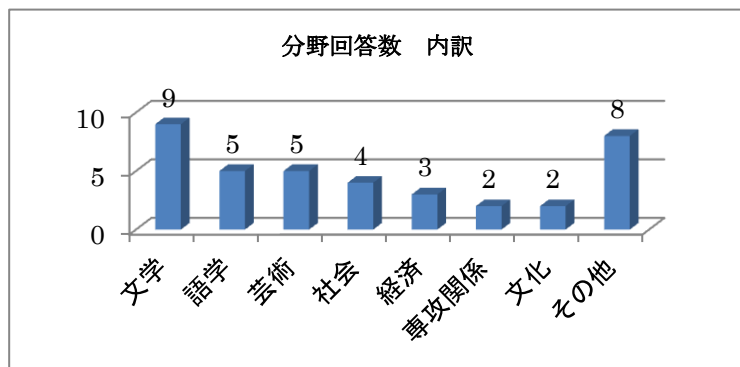
Q) 日本語学科以外の学生の利用状況は？

1.よく利用する	0%
2.時々利用する	93%
3.利用しない	7%



Q) 日本語学科以外学生の利用分野は？(複数回答)

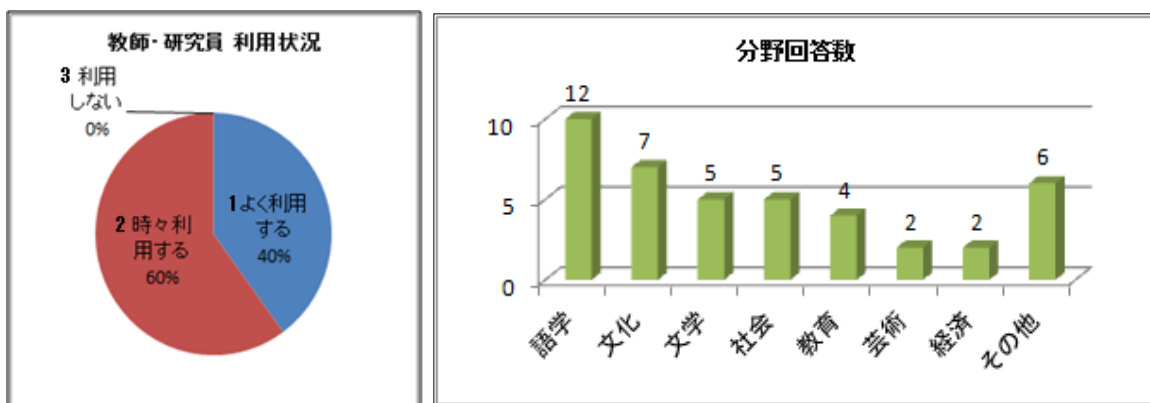
・文学	9 大学
・語学	5 大学
・芸術	5 大学
・社会	4 大学
・経済	3 大学
・専門分野	2 大学
・文化	2 大学
・その他	8 大学



(その他の内訳: 哲学、歴史、法律、地理、漫画、生物、科学、政治)

【考察】文学の利用は高いが、文学以外は偏りなく専門、専攻関係、芸術関係など、幅広い分野の図書が利用されている。

Q) 教師・研究員の利用状況及び利用分野は？



[その他の内訳:理工、医学、地理、政治、法律、宗教哲学]

【考察】日本文化に関する図書と教育関係(日本語含む)図書の利用が高いが、教師・研究員の立場から、自身の研究に必要な、より専門性の高い図書が求められている。

Q) 寄贈図書利用率の向上のための活動は？(複数回答)

- ・掲示板、ショーケース、電光掲示板等による告知 12 大学
- ・利用講座開設 2 大学
- ・スピーチコンテスト開催 2 大学
- ・その他 3 大学

[その他のコメント]①寄贈棚を設置している

②良い本討論会や読書サークルの開催 など

回答より、全校が工夫して寄贈図書の利用率 UP に取り組んでくれていることがわかる。

Q) 寄贈図書に対する印象

- ・良質で、それ程古い本はない
- ・分野が広い
- ・印刷の質が良い
- ・古いが破損や落丁がない
- ・専門性の高い図書が少ない

Q)プロジェクトへの意見・希望

- ・新しい図書が欲しい 3 大学
- ・専門性の高い図書が欲しい 4 大学
- ・選定しやすいように、図書選定リストを工夫して欲しい(大きな分類で分ける、ページ数や内容要約の項目追加など) 2 大学
- ・プロジェクトのさらなる発展を期待 2 大学

回答より、寄贈図書に対する印象は、全体的に高い評価を得ていると言える。しかし、大学図書館という性質上、研究に必要とされる専門性の高い図書へのニーズが高く、現状では、そのニーズに応えられていない状況が、浮き彫りとなった。不要となった図書を収集するという事業の性質上、なかなか専門分野の図書は集まりにくい傾向にあるが、この期待に応え、プロジェクトの更なる発展に努める。

近年の電子書籍の普及を受け、電子書籍についての意見を聞いてみた。

Q)よく利用されるのは、紙の書籍か、電子書籍か？

- ・紙の書籍 7 大学
- ・電子書籍 4 大学
- ・両方 3 大学

■電子書籍についての意見

【よく利用すると回答した大学の意見】

- ・多くの情報が溢れる中、本当に必要な情報を検索して絞るという点で利便性が高い。
- ・保存に便利
- ・簡単な調べものにはいい。(専門的、高度な情報でなければ)
- ・最新の情報が入手できる
- ・携帯に便利 電子ブックリーダー(kindle)など

【利用しないと回答した大学の意見】

- ・費用が安くても通信費がかかる
- ・急速な発展をしているが、未成熟(著作権が整備されていないところに問題、など)
- ・情報の信憑性が紙媒体より低い
- ・最新の情報を瞬時に入手できるが、紙媒体にはこれに換えられない本の味を感じる。
- ・電子媒体はファーストフードのようで味気ない

■紙媒体についての意見

- ・長期保存に優れている
- ・長時間見るには目にもいい、読みやすい
- ・情報の信頼度が高い
- ・書籍を保存するのは図書館の主要な機能の一つである為、紙の書籍は図書館に適している。
- ・コストの面(電子版は通信費がかかる)
- ・電子版は流行しているが、紙の書籍を手にとったときの感覚は電子書籍では得られない。
- ・古典、特殊分野の書籍や著作権保護の観点ではまだまだ紙媒体が優れている。

回答より、中国の若者の間でも電子書籍の急速な普及が見られるが、情報の信頼度、専門性においては紙媒体の評価が高い結果となった。また、「情報の収集・保存」という図書館の主要な機能から紙媒体の利点及び重要性を説く大学図書館担当者や、何よりも紙の手触りや匂いなど、紙への愛着を挙げる多くの回答があった。